

策定について

国の人口が減少局面に入っている中、松伏町でも、人口減少及び少子高齢化は今後さらに深刻化すると予測。



平成27年度

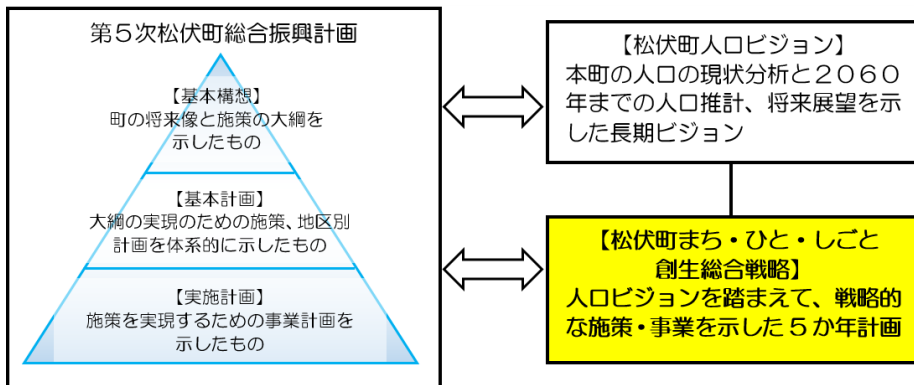
松伏町では、今後めざすべき長期的な方向性を示す「松伏町人口ビジョン」と、今後5年間で行うべき戦略的施策の方向性や具体的な事業を示す「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。

※人口ビジョンと総合戦略の位置付け

短中期的な視点で本町の総合的な取組みを示す「総合振興計画」に加え、急務である人口減少などへの対応に焦点を当てた、長期的な展望を示す人口ビジョン及び短期的な戦略を示す総合戦略によって、戦略的な町の創生を図る。

※総合戦略計画期間

平成27年度から平成31年度まで

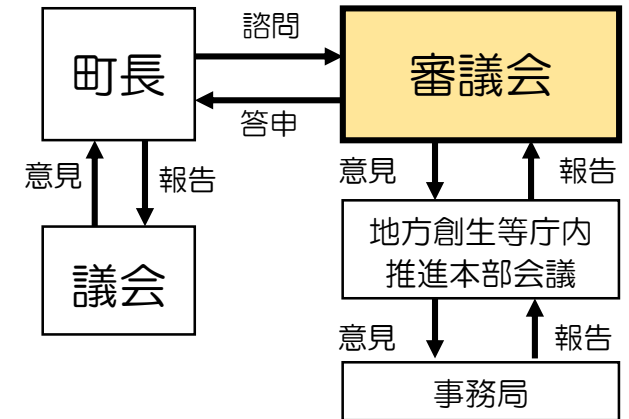


総合戦略審議会

産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働機関・メディア（産官学金労言）と公募委員及び町長が必要と認める者の計10名で構成する「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」を平成27年度に組織し、幅広い分野から様々な意見をいただき、同年に総合戦略を策定した。加えて、国からの補助金を受けた総合戦略上の施策等について事業評価や必要に応じて戦略の改訂を実施している。

地方創生等庁内推進本部会議

副町長を委員長とし、地方創生に関する進捗管理や、組織の横断的な調整等に取組むことを目的とした会議を開催。



主な地方創生関連事業の取組み

平成26年度～29年度

- 地域消費喚起・生活支援型交付金事業
 - ・プレミアム商品券
- 地方創生先行型交付金事業
 - ・北部拠点活性化事業
 - ・地域公共交通資源と「道の駅」の制度を活用した公共交通強化事業
- 総合戦略上
 - ・シティプロモーション戦略の策定
 - ・まつぶし逸品開発事業
 - ・松伏町多世代交流学習館（旧赤岩地区公民館）オープン